



タイラー市親善訪問団 4年ぶりの本市訪問

8回目となる米国タイラー市からの親善訪問団が2014年7月11日（金）八千代市を訪れました。今回の訪問団はマーティン・ハインズ市長、団長のゲイリー・スウィンドル姉妹都市委員会会長など総勢12名の皆さんで、前回訪れたのが2010年7月ですので4年ぶりの来日となります。一行はこの日から5日間、2014年タイラー市親善訪問団受入実行委員会が用意したウェルカムパーティー、佐原へのバス旅行、日本文化の体験、さよならパーティーなど数多くの行事に参加し、市民との友好を深めました。

（2ページから5ページに関連記事）

▼ハインズ市長（中央）とスウィンドル団長（左）から「来年は是非、タイラー市へ」のメッセージで堅い握手をする小林公孝受入実行委員長





タイラー市の皆さんと 和やかな交流事業を展開

台風8号が近づくとこの予報でしたが、幸いにもそれで、タイラー市の皆さんを無事お迎えすることができました。7月11日から15日までの2014年タイラー市親善訪問団受入実行委員会の状況についてご報告いたします。

初日は市主催の表敬訪問・歓迎昼食会と協会主催のウェルカム・パーティー

タイラー市親善訪問団を歓迎して、八千代市役所には日章旗と共に星条旗が掲揚され、市役所の正面玄関で八千代市のキャラクター「やっち」とともに、市役所の職員と八千代市国際交流協会の受入実行委員及びタイラー市出身のALT（外国語指導助手）が日米の国旗を手に親善訪問団を出迎えました。日程表は別表のとおりです。

市役所で行われたのはタイラー市の皆さんの八千代市表敬訪問。秋葉市長とハインズ・タイラー市長のあいさつでスタートし、秋葉市長は通訳を介さず、日本語と英語両方であいさつを行いました。両市長とも今回が初顔合わせです。プレゼント交換ではハインズ市長からワシントンDCのアメリカ連邦議会に掲揚されていた星条旗が証明書付きで贈られました。また、スウィンドル団長からのメンバーの紹介後、八千代市から議長・副議長、市幹部職員、国際交流協会の実行委員の紹介などが行われました。市議会議場などの見学の後、歓迎昼食会場に移動し、各テーブルごとに親善訪問団のメンバー、ALT、国際交流協会の実行委員がセットされ、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で昼食を楽しみました。

夜6時から国際交流協会主催による「ウェルカムパーティー」を佐倉市にあるウィシュトンホテルで開催しました。出席者は70名を超え、お互いに名刺交換や写真撮影などで懇親を深めていました。なかでもスウィンドル団長が日本語であいさつし、会場を沸かせたほか、ソプラノ歌手によるアトラクションで参加者は大いに楽しんでいただきました。

2日目は国指定重要無形民俗文化財の「佐原の大祭」を見学

朝9時30分に参加人員36名で佐原を目指し、大型バスで出発しました。香取神宮を参拝した後、昼食を取

り、香取市内を流れる小野川の舟めぐりを行いました。

小野川沿いには江戸・明治期の建物が多く残り、古き良き時代をしのぶことができます。町並みを見物しながら山車会館に向い、山車の現物を見たほか、ビデオでも説明を受けました。「佐原の大祭」は国指定の重要無形民俗文化財。7月の八坂神社祇園祭と10月の諏訪神社秋祭りの総称で、日本三大囃子「佐原囃子」の音を町中に響かせ、小江戸と呼ばれる町並みの中の家々を進むさまは、江戸時代の情景を彷彿させます。

休憩広場では観光客向けに餅つきが行われており、タイラーの方たちも何人か実際にきねを持って餅をつき、出来立てのお餅を味わいました。ついたばかりのお餅を食べることは、今は日本人でもなかなか経験できないことで、ちょうど良いタイミングで遭遇できました。佐原の名士、伊能忠敬の記念館を見学の後、バイキングでの夕食を楽しみました。

3日目はホーム・ビジット 日本の家庭と文化を楽しみました

この日はホーム・ビジットの日。親善訪問団を6グループに分け、6家庭で対応しました。それぞれカラオケやお茶の会、ショッピングなどを計画し、日本の家庭と文化を楽しんでいただいたようです。

我が家ではニキ・ナンさんの受け入れを担当したので、その状況を報告いたします。ニキさんは日本語と空手を習っていて日本の文化や武道にも関心があるとの情報を聞いていました。折角の機会なので事前にメールして興味ある内容を確認しました。

最初に八千代市空手道連盟の方が指導している八千代台の空手道場を訪問。当日は日曜日で多くの子供たちが指導を受け、稽古をしていました。特別にお願いをして、空手の「型」を披露していただき、それをDVDで記録しました。日本の達人の「型」を記録したDVDは貴重なお土産になったのではないかと思います。昼食は自宅で取りました。洋食も用意しましたが、彼女はむしろ稲荷寿司、味噌汁などに興味を示しまし

た。彼女は日本食が好きで、慣れているようでした。

午後、東葉高速線で東京に向かいました。彼女は地下鉄に乗るのは初めてのようでした。表参道を散策し、日本のお土産を売っているお店やキャラクターグッズのお店を見た後、明治神宮を参拝しました。夜は勝田台の居酒屋へ行きました。居酒屋は食べ物の種類も多く、掘りごたつのある座敷で日本の食文化を楽しんでいただきました。

4日目は充実した日本文化体験と さよならパーティー

午前中は、八千代市ふれあいプラザで茶道、琴、書道、押し花、絵手紙、伝統衣装の試着などを体験していただきました。親善訪問団の方々にとってはほとんどが初めての体験で、皆さん興味津々でした。実際に作成した絵手紙や書道作品は、お土産としてお持ち帰りになりました。このふれあいプラザでは、数多くの関係者にご協力いただき、まさに市民挙げての歓迎となりました。また同じ時間、八千代市教育委員会指導課のご協力により、メンバーの内バウアーさん親子が阿蘇中学校を訪れました。タイラー市出身のALTの授業などに参加し、楽しい一時を過ごしました。

昼食は和食を中心としたバイキング。昼食後、タイラー市の皆さんは八千代高校に向きました。八千代高校では、鼓組の和太鼓演奏、吹奏楽の演奏、琴による「アメリカ国歌」の演奏などで親善訪問団を歓迎しました。生徒たちもタイラー市の方たちとの生の英語に触れ、大感激の様子でした。

日本最後の夜の「さよならパーティー」は76名の方々が参加。アトラクションでは「かっぱれ」や国際交流協会のメンバーによる「上を向いて歩こう」などの合唱を行いました。記念の集合写真撮影の後、「三々七拍子」で閉会となりました。(廣田敬治)

受け入れを終えて

八千代市国際交流協会

会長 周 郷 紀 男



2014年タイラー市親善訪問団受入実行委員会の皆様本当にお疲れ様でした。私たちはタイラー市の皆様をお迎えするため、1年前に実行委員会を結成し、小林公孝委員長のもと11回の会議を開き、満足していただけるようにいろいろと計画をしてみました。その間、タイラー市の窓口としてトニー・タダサ氏には大変なご苦勞をお掛けし、改めてお礼を申し上げます。1992年に両市が姉妹都市提携を結んでから22年間、タイラー市から8回、八千代市から9回の姉妹都市交流を実施し、両市の絆は更に太く大きく育てられていることを大変嬉しく思っております。また、永き良き友人として、これからもこの絆を大切に、この姉妹都市交流が更に両市の文化・経済等に大きく寄与されることを信じております。

別 表

期 日	内 容
7月11日(金)	◇八千代市表敬訪問(八千代市主催) ◇歓迎昼食会(八千代市主催) ◇ウェルカムパーティー
7月12日(土)	◇佐原の大祭見学(香取神宮参拝・舟めぐり・町並み見学・山車見学など)
7月13日(日)	◇ホーム・ビジット ※6グループに分かれ各家庭を訪問
7月14日(月)	◇ふれあいプラザで日本文化体験(茶道・書道・尺八・琴・絵手紙・押し花・切り絵・伝統衣装試着・日本料理など) ◇八千代高校訪問(鼓組の演奏などの鑑賞) ◇さよならパーティー
7月15日(火)	成田空港より帰国

▼八千代市表敬訪問の際、両市長らと2014年タイラー市親善訪問団受入実行委員会全員で記念撮影



写真で見る 2014年姉妹 都市交流



▲記念品は「やっち」のついたTシャツ
◀お出迎えをする秋葉市長と実行委員

受け入れを終えて

2014年タイラー市親善訪問団
受入実行委員会
委員長 小林 公孝



親善訪問団12名は全員無事日程を消化し、姉妹都市八千代市に対する認識を新たに満足されて帰国されたことと思います。短い時間でしたが、タイラーの人たちと和やかな交流を繰り広げることができました。それぞれの市民が直接交流することで、理解を深めることができる市民交流の意義を改めて感じました。特に今回は、東京成徳大学や八千代高校の学生等若い人たちの参加・交流ができて良かったと思っています。これからも是非参加していただきたいと思っています。最後に受入実行委員会のメンバーの皆様、ご協力本当にありがとうございました。



◀周郷会長ご夫妻とスウィンドル団長ご夫妻らで記念撮影

▼「佐原の大祭」で山車を背景に記念撮影をするハインズ市長とパウワーさん



▲アトラクションの出演者と一緒に記念撮影

▼佐原の舟めぐりは香取市国際交流協会からの案内役が同乗



▲アトラクションで合唱をする両市民

▼香取神宮では英語で説明がありました

▼タダサさんの餅つきは手慣れたもの



▼「このお餅おいしいわ」とタイラー市の皆さん

▼香取神宮で千葉市の中学生に話しかけるタイラー市の皆さん





▲八千代高校生から琴の指導も
 ◀日本の文化体験はいかがですか？
 最後の夜は記念撮影で大忙し▶



◀阿蘇中を訪れたパウアーさん親子
 ▼東京成徳大学生による見事な変身



▲八千代高校で琴による「アメリカ国歌」の演奏と和太鼓の演奏

▶さよならパーティーはこの集合写真がないと終わりません

▼アトラクションとして日舞も出演



平成26年度予算 概要は次のとおり

八千代市国際交流協会の平成26年度予算が平成26年4月13日に行われた総会で決まりました。その概要は次のとおりです。

●収入 単位：円

科 目	金 額
1. 会費収入	582,000
2. 補助金	1,600,000
3. 繰越金	245,310
4. 雑収入	690
合 計	2,428,000

●支出

単位：円

科 目	金 額	摘 要				
1. 事業費 1,080,000	1. インターナショナルデー 100,000	謝金	40,000	出演者・協力者謝金		
		需要費	30,000	ポスター制作・事務用品など		
		役務費	30,000	イベント告知など		
	2. タイラー市訪問団 受入事業費 300,000	需用費	150,000	タイラー訪問団受入経費		
		役務費	150,000	タイラー訪問団受入経費		
	3. 広報事業費 170,000	需要費	120,000	広報紙「cliP」印刷		
		委託料	50,000	HP制作委託料		
	4. 部会事業費 510,000	部会事業費		510,000	国際姉妹都市部会、日本語指導ボランティア部会、語学ボランティア部会、国際交流推進部会	
		2. 事務費 1,235,000	1. 事務費 1,235,000	需要費	175,000	事務用品・会議用茶葉代
				役務費	200,000	会議通知・資料送付・電話代等
	備品費			30,000	備品	
	人件費			780,000	事務職員給与・労災	
研修費	10,000			研修参加費補助		
負担金	10,000			千葉県国際交流センター団体会費		
3. 予備費 113,000	1. 予備費 113,000	交際費	30,000			
		予備費	113,000			
合 計	2,428,000					

日本語指導ボランティア研修会 意欲的な人たちが応募

3回目となる日本語指導ボランティア研修会が2014年7月5日(土)に八千代市多文化交流センターで開催されました。

今回の応募者は9名でしたが、ボランティアに積極的に協力したいという意欲的な人が多く、中には国際という言葉に引かれて受講した人もいました。

講師から「生活に必要な日本語を教えることが根底にあることから、忍耐強い人が向いているようです」「限られた時間内にいかに興味を持たせるか、という

努力も必要です」「高い位置から教えてやっけるの」という講師の態度は、受講生の勉強の継続に一番響くのではないのでしょうか」とのお話がありました。最後に

「一緒に学ぶ態度で話題を豊富にしながら教えるという方法が一番良いのではないのでしょうか」とのお話があり、とても充実した楽しい研修会となりました。

(美川克子)



▼熱心に聞き入る受講生たち

第14回語学研修旅行 那須高原を訪問し、日本文化を学ぶ

今年の語学研修旅行は、2014年10月17日～18日にALTのメンバー2名を含め16名で実施しました。旅行先は那須高原。途中、日本最古の学校で1549年宣教師フランシスコ・ザビエルにより「日本国中最も大にして、最も有名な坂東の大学」と世界で紹介された足利学校と、大谷石を掘り出して出来た巨大地下空間の大谷石採掘場を見学しました。

宿泊先のペンションでALTが英語スピーチを行い、ジェシカ・ブライアントさんはアメリカ自動車免許の

話、ジェニファー・レイダーさんは言語と文化の話で、途中英語で質疑応答を行い、有意義な時間を過ごせました。夕食は食べ切れないほどのお肉に舌鼓。翌日は那須高原の散策後、皇室御用達の菓子店と

アウトレットを訪れ、勝田台へ帰りました。お天気にも恵まれ、歴史と秋の栃木県を満喫する研修旅行ができました。

(喜田茂)



▼那須温泉近くの「殺生石」で記念撮影

ALTと一緒に 子供たちがハロウィンを体験

市内の子供たちに英語圏のお祭りを通して、英語に触れる場を提供するためにハロウィンパーティーを実施しました。前年同様、2014年10月26日(日)福祉センターで行われ、それぞれのコスチュームに身を包んだ子供たちと魔女・妖精・ピカチュウなどに変身したALTを中心にスタート。オオカミの泣き方やミイラの踊り方などを練習後、モンスター・マッシュというダンスをALTと一緒に上手に踊りました。英単語の連

想ゲームにチャレンジしたり、お菓子などが入ったピニャータ割などを全員で楽しみました。(岩井寛)

▼ALTと参加した子供たち



第7回英語語学研修会 講師はジェニファー・シモンズ先生

第7回英語語学研修会は2014年11月8日(土)午後2時から八千代市市民会館3階会議室で語学ボランティア部会により開催されました。参加者は30名。

講師は姉妹都市タイラー市からのALT、ジェニファー・シモンズ先生。演題は「英語の歴史」で、古い英語から現在までを4つの時代に分け、パワーポイントで説明されました。言語に関心を持った経緯が生い立ちを交えた分かりやすい英語で話され、地図や写真

が理解の助けとなりました。言語や語彙には物語があり、その土地の地勢、気候、独自性を反映しているという興味深い内容でした。後半は質問に答えるQ&Aがあり、英語を新しい切り口で眺められたこと、

遠いタイラー市がより身近に感じられた楽しい時間でした。

(柴田ひさ)



▼分かりやすい英語で興味深い内容でした

夏休みこども日本語教室in八千代 6か国17名の子供が参加

2007年から8回目の夏休みこども日本語教室を2014年8月22日（金）に実施しました。八千代市少年自然の家を活動場所とし、八千代市教育委員会から施設使用料免除と往復のバス無償供与を昨年に続き得て、高津地区からの参加も実現しました。AMIGO教室の生徒さんを主に6か国26名の申し込みがありましたが、家庭の都合などで17名の参加となりました。

今年も少年自然の家の職員、ボランティア、小学校の先生、八千代警察署、千葉県国際交流協会、AMIGO教室を卒業した高校生など25名の人たちの協力を得た活動となりました。参加生徒による開会宣言、支援者の紹介後、テーマ曲「小さな世界」を合唱し、自己紹介ゲームを行いました。午前は5グループに分かれ、植物園内で「宝物さがし」をボランティア参加者と一緒に楽し

み、交番巡回車の見学、交通安全を主に防犯指導を警察の方から受けました。午後はアドベンチャーリレー（豆拾い・竹積み・輪投げ）をグループで競争し、皆で元気に走り回りました。恒例となったプラネタリウムを見学し、生徒の閉会宣言後、自然の家の職員の見送りを受け、元気に帰路につきました。（鈴木正俊）

▼有意義で楽しく過ごせた一日でした



八千代インターナショナルデイ 外国出身者が多彩な演技を披露

第9回八千代インターナショナルデイが2014年9月7日（日）フルルガーデン八千代噴水広場で開催されました。今回は心配された雨の影響はなく、予想以上に多くの観客、外国人が参加し大盛況の内に終わりました。八千代高校和太鼓部・鼓組48名による日本の和太鼓演奏を皮切りに、ブラジル音楽、ジャマイカ出身者のトークショー、ラテン音楽、アメリカ出身者によるキーボード演奏、三味線演奏、そして八千代市舞踊連盟30名による踊りと国際色豊かに多彩な演目で観客を魅了しました。ブラジル音楽ではプロのカントリー歌手・金森重恭さんによるブルースが披露され、ラテン音楽では観客の皆さんがステージ前に出て一緒にダンスで盛

り上がり、キーボード演奏ではオリジナルのジャズの演奏などに魅了されました。最後は活気あふれる八千代高校・鼓組の和太鼓演奏2部でイベントの幕を閉じました。なお、東あられ本舗さんをはじめ、多くの企業から協賛をいただきました。（河合晴子）

▼今回出場した外国出身者の皆さん



中国出身の鐘玖美さんが加わりキレのある型を披露。初の挑戦という板割りを成功させ、会場を大きな拍手で包みました。今後もボランティア講師と学習者で共に学び、その成果を来年のスピーチ大会につなげていきたいと思っています。（入江幸世）

▼受賞者を囲んで記念撮影



第8回日本語スピーチ大会 個性あふれるスピーチを展開

2014年11月1日（土）八千代市八千代台東南公共センターで、第8回八千代市日本語スピーチ大会が開催されました。今年は飛び入りの参加もあり、総勢14名での大会となりました。スピーチの内容は様々で、一人ひとりの個性あふれるものでした。会長賞はロシア出身のプラトゥヌフ・ユーリーさん（東南水曜会）が受賞。「私の中の日本」というテーマで日本の印象についての発表でした。来日2年目ながらとてもきれいな日本語を丁寧に大切に話す姿が印象に残りました。懇親会は軽食をとりながらの国際交流の場。松本則夫さんによる楽しいマジックとギターの弾き語りでにぎやかに始まりました。山口勝信さんの空手では、参加者の一人

姉妹都市タイラー市への 2015年訪問者を募集 (予定)

今年7月、姉妹都市タイラー市の皆さんが八千代市を訪れました。帰国後、ハインズ市長よりメールでお礼の言葉をいただきました。滞在中「来年は是非タイラー市へ」というお言葉に、八千代市国際交流協会としては2015年10月ごろ訪問したい旨のメッセージをお伝えしました。詳しい日程は未定ですが、決まりしだい国際交流協会のホームページや「広報やちよ」でお知らせします。ご参加をお待ちしています。(三橋伸一郎)



◀前回の訪問より

平成26年度篤行者表彰 小林道夫氏が受賞



小林さんは、1996年4月から八千代国際姉妹都市委員会会員として、また2006年からは八千代市国際交流協会会員として、タイラー市訪問やタイラー市親善訪問団受入時の記録係として、事業の記録写真撮影やDVDの製作に携わりました。

これまで八千代市・タイラー市紹介リーフレットや姉妹都市提携20周年記念特集小冊子の企画・編集に参画するなど姉妹都市交流実績の記録に尽力されました。また、2010年にはタイラー市親善訪問団受入実行委員会の委員長として活躍したほか、八千代インターナショナルデイ、日本語スピーチ大会等の各種事業の活動記録製作に協力するなど、国際交流活動の支援を惜みず、国際交流協会の発展と国際交流の推進に大きく貢献されました。(三橋伸一郎)

会員募集中

八千代市国際交流協会では会員を募集中です。詳しくは事務局(047-752-0593)へお問い合わせください。年会費は個人2,000円、家族3,000円、学生1,000円、団体会員10,000円となっています。また、新しい情報はホームページをご覧ください。アドレスは次のとおりです。《<http://www.yia-kokusai2006.com>》

八千代市国際交流協会

検索

八千代へようこそ

八千代市内の中学校では、現在6人の外国語指導助手(ALT)が英語の指導をしています。今年8月にタイラー市から着任された新しい先生お二人にインタビューをしました。

(通訳/瀬下和正 文/三橋伸一郎)

■ ■ 今回が二度目の来日 気楽に英語の勉強を

ジェシカ・ブライアントさん



3年前に一度ALTとして勤務していて今回が2回目。八千代の人たちは大変親切。アメリカの学校と比べて掃除やスポーツ活動などグループ活動が多いようです。アメリカでは掃除はありません。子供たちに立ってあいさつされたのはビックリ。好きな食べ物はうどん、お寿司などです。苦手なものはウニ。とにかく神経質にならず気楽に英語を勉強してほしいですね。

■ ■ ALT募集を見て応募 責任感が強い日本の生徒さん

ジェニファー・レイダーさん



八千代市でALTを募集しているのを見て応募。今回は留学を含め3回目の来日です。日本の生徒さんは責任感が強いですね。教室の中で昼食をとるのにはビックリ。アメリカの場合は食堂です。好きな食べ物はラーメンやしゃぶしゃぶなどです。たこ焼きは好きなんですけど、生のタコはダメ。苦手なものは納豆です。できたら日本語はもっとうまくなりたいですね。

編集後記

日本語指導ボランティア部会が開催した八千代市日本語スピーチ大会では、「日本の良さは道路にゴミを捨てないこと。我々外国人に辛抱強く日本語を教えてくれること。また、東日本大震災時、食糧が欠乏しても寒い中じっと並んで待っている姿は日本人の美しさの原点であること」といった各国から聞こえてきた若者等の意見は素晴らしいものでした。

今秋の語学研修旅行で訪問した日本最古の総合大学である足利学校では、若い女性のALTが現地で「ここが日本の文化・教育の発祥の地と初めて知った」と目を輝かせて語る姿は印象深いものでした。

また、今年7月の姉妹都市タイラーからの市民が八千代高校を訪問したとき、高校生たちは鼓組、吹奏楽と琴の実演の後、タイラーの人たちと1対1の直接対話で「英語で質疑応答して本当にいい体験でした」と興奮気味に話してくれたのは嬉しいものでした。確実に若い人たちの中に国際交流に対する意識が育っているのを実感しています。(山田桂三)